

2月19日 高梁市役所周辺ほか 春光の城下町を駆け抜ける



親子連れのランナーも多く参加

「第38回市民健康づくり愛らぶ高梁ふれあいマラソン」(市・教育委員会・市体育協会主催)が開催され、3kmのふれあいコース・5kmの愛らぶコース・10kmの城下町コースの3コース12部門に801人が参加。沿道の声援を受けながら、ランナーたちは本町通りなど、城下町の趣が色濃く残る町並みの中を駆け抜けていきました。

2月12日 高梁総合文化会館(原田北町) 高梁市を全国にPR



高梁総合文化会館に設置された特設ステージ

「明るく!楽しく!元気よく!」をテーマに、地域の皆さんの元気な歌声を全国に届けるNHKの人気番組「NHKのど自慢」(市・NHK岡山放送局主催)の公開生放送が高梁総合文化会館で行われました。ゲストに前川清さん・香西かおりさんを迎えて、予選を通過した20組が出演し、高梁市から元気な歌声を全国に届けました。

2月10日 高梁市役所(松原通) 青少年が健全に過ごせるまちに



寄付金を手渡す中村浩巳・中村建設株代表取締役

青少年の健全育成に役立ててほしいと、中村建設株から100万円が市に寄付されました。同社は、昭和63年から毎年寄付を続けており、今回で総額4800万円。青少年健全育成基金として積み立てられ、青少年の健全育成に貢献している団体と個人への表彰事業に使われ、これまでに96団体、8個人が表彰されています。

2月9日 文化交流館(原田北町) 努力を継続する大切さを学ぶ



「野人」の愛称で親しまれた岡野雅行さん

元サッカー日本代表で、ガイナレ鳥取ゼネラルマネージャーの岡野雅行さんを講師に「スポーツ講演会」(高梁市教育委員会主催)が開催され、約250人が参加しました。学生時代や日本代表のエピソードを交えながら「諦めず、努力を続ければチャンスは必ず巡ってくる」と努力を継続する大切さを訴え、参加者は熱心に話を聞いていました。

3月1日 高梁市消防本部(横町) 地域防災体制の充実に貢献する



平成28年度消防団協力事業所の皆さん

消防団の活動に積極的に協力している事業所に交付する「高梁市消防団協力事業所表示証」の交付式が行われました。平成28年度は、日軽形材株、(株)山室建設、(株)勇成建設、イーグル工業株岡山事業場、岡山イーグル株、三京株、(株)三美産業、住友電工焼結合金株、武田鑄造株高梁工場、中村建設株の10事業所に交付しました。

2月17日 高梁市役所(松原通) 子どもたちの事故防止に役立てて



ランドセルカバーを寄贈する選手たち

サッカー女子・なでしこリーグ2部の吉備国際大学シャルムから、子どもたちの事故防止とシャルムの応援の輪が広がるよう、チームカラーの黄色を採用したオリジナルのランドセルカバー250枚が寄贈されました。寄贈されたランドセルカバーは、今春、市内小学校に入学する184人に配る予定になっています。

高梁知るぷぷれ



知るぷぷれは「高梁を知る」と「シルブプレ」(フランス語で「よろしければ」)をかけた言葉です

高梁に変革が起っています。びっくりするほど大きな吹き抜けを、ガラス、木と石、そして大量の本がとり囲む、とても豪華な建築物が市街地の真ん中に鎮座しました。出会いを引き起こし、好奇心をそそり、子どもたちがもっと元気になる…未来につながる高梁市図書館。

今回は、高梁市図書館の長期ビジョンを説明してもらおうと、スタッフの佐藤光さんと山本慶さんと、23歳の2人にお話を聞きました。

「未来につながる図書館」というコンセプトに則って、講演を企画するなど、多種多様なイベントを企画・開催していく佐藤さんは、毎月変わるテーマを中心とした図書館フェア、実習イベントと連動



イベント企画担当の佐藤さん。フランス語が(少し)話せる九州男児。

「移動図書館をもっと魅力的なものにしていきたい」と話す山本さんは、巡回ポイントと滞在時間を増やし、また、ポルカやスターバックスなどと協力して、移動販売やコーヒーに関するセミナーの開催といった新しい取り組みを考えています。高梁市図書館の勢いを、駅周辺のみならず各地域まで広げようとしているのです。

若く元気なスタッフが、市民はもちろん、わざわざ市外から来る人にも喜んでもらえるようにいろいろ工夫しています。イベントに参加するチャンスを逃さないください!



移動図書館を担当する山本さん。「高梁でもたくさん友達ができました」と笑顔。